

授業科目

日本語表現法II

担当教員名 各学科担当教員	対象学年	1	対象学科	全学科
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	○	◎

授業の概要

参考書の課題を通して、「読む」、「書く」、「発表する」ことを中心とした、日本語能力および表現能力のさらなる向上を図る。

授業の目的

日常会話とは異なる公的文書、特にレポートと論文との違いについて、より深く理解する。

学習目標

1. 一般的に用いられる語彙および簡単な専門用語を読み、書き、説明することができる
2. 文章を読み、それを要約することができる
3. 他者の話の中からキーワードを取り上げ、内容を要約することができる
4. 表、図、グラフなどの情報から気づいたことを他者に伝達（口述・記述）することができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題
1	オリエンテーション
2	文章読解および要約トレーニング
3	文章読解および要約トレーニング
4	日本語ヒアリングトレーニング
5	日本語ヒアリングトレーニング
6	情報理解トレーニング
7	情報理解トレーニング
8	まとめ
【注】 学科により内容が異なる場合があるため、初回オリエンテーション時に確認し、掲示板にも注意すること。	

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	知へのステップ	学習技術研究会編	黒瀬出版	2002年		
その他の資料	必要に応じて資料を配布する。					

評価方法

授業態度、授業への貢献度

履修上の留意点

授業参加に加え、積極的に自己学習に取り組む態度が求められる。
また、本科目は、各学科の担当教員が実施する。

オフィスアワー・連絡先

第1回目の講義時に確認のこと。